

ときを越え
受け継がれるもの

春日森（月光山金龍寺跡）

＝ 衣川区上寺田 ＝

衣川区の懸田バス停から南方に進むと、水田の中に春日森という名の丘陵が目に見え込む。春日森の周辺には、月光山金龍寺があったとの伝えがあり、その繁栄のころに造営された経塚と考えられている。そこから連なる長さ16㍎、幅8㍎の台地は、この寺の山門跡といわれている。

春日森には、室町時代初期（14世紀）のものと推定される「寺田の墨書板碑」（碑高102㍎・市指定有形民俗文化財）がある。中世期に、墓や供養碑として建立された板碑。このほか市内で50基ほど確認されているが、記された文字が残るこの墨書板碑は、県内唯一の貴重なもの。極楽往生を願う大日如来の種字と光明真言が記されている。板碑が建立され、地域の人々の信仰を集めていたこの丘陵。静かな山里に、その歴史を色濃く残す春日森は、見る者を中世の世界へと誘う。

広告



1



1 朝もやの中に浮かび上がる丘陵。杉の木がそびえ立ち、遠くから眺めてもその姿が一目で分かる
2 丘陵の頂から南方、少し下がった所に建てられている社。その中に板碑が保管されている **3** 墨で書かれた文字が読み取れる寺田の墨書板碑



2



3